

## 湯来地域への観光二次交通確保検討業務 基本仕様書

### 1 業務名

湯来地域への観光二次交通確保検討業務

### 2 業務目的

中山間地域である戸山地域・湯来地域では、地域住民や関係団体等（以下「地域住民等」という。）から構成される戸山地域・湯来地域活性化推進協議会が本市と連携して策定した「戸山地域・湯来地域活性化プラン※」に基づき、本市と地域住民等が連携して持続可能なまちづくりの推進に向けた取組を進めている。

このうち、湯来地域においては、戸山地域と結ぶ天皇原トンネルの供用開始が令和10年度に予定されているほか、小中一貫教育校の開校が令和12年度に予定されているなど地域事情の大きな変化を迎えようとしており、本市では今後、生活交通としてだけでなく、観光や医療、教育などの観点からも、地域の輸送資源をフル活用した持続的な交通ネットワークの構築を目指しているところである。

こうした中、現在、観光客が市内中心部から移動できる交通手段は、自家用車を除くと、五日市駅・広島市国民宿舎湯来ロッジ（以下「湯来ロッジ」という。）間で運行されている路線バス（別紙1の「湯来・杉並台線」）のほか、広島駅・湯来ロッジ間で運行されているシャトルバス（平日のみ。湯来ロッジ宿泊者限定）に限られるなど十分に確保されているとはいえない。このような状況は、湯来地域が湯来ロッジや広島市湯の山温泉館（以下「湯の山温泉館」という。）などの温泉施設を始めとした観光資源のほか、豊かな自然を生かした体験プログラムを有していながら、観光客数が伸び悩む要因の一つとなっているものと考えられる。

本業務では以上の状況を踏まえた上で、湯来地域への観光客の誘客、さらには同地域内での周遊促進を図るため、市内中心部からのアクセス性の向上等に資する観光二次交通の確保に向けた検討を行うことを目的とする。

なお、本業務の成果物をベースとして、令和9年度以降、観光二次交通の社会実験を実施することを想定している。

#### ※ 戸山地域・湯来地域活性化プラン

([https://www.city.hiroshima.lg.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page/001/017/868/282242\\_505743\\_misc.pdf](https://www.city.hiroshima.lg.jp/_res/projects/default_project/_page/001/017/868/282242_505743_misc.pdf))

### 3 履行期間

契約締結日から令和9年2月28日まで

### 4 業務内容

#### (1) 現状分析及び観光二次交通の確保策の検討・設計

##### ア 交通課題等の整理

前記2で示す本市の状況を踏まえた上で、地域住民や路線バスを運行する交通事業者及び行政機関等を対象としたヒアリング調査の実施により必要な情報を収集し、湯来地域方面へ運行している既存のバス路線やシャトルバスを観光客が利用するに当たっての現状及び課題を整理すること。

また、調査方式、調査項目及び調査実施時期・実施期間等について、あらかじめ発注者へ報告の上、承認を得ること。

##### イ 観光二次交通の確保策の検討・設計

前記4(1)アの整理結果を踏まえ、湯来地域への観光二次交通の確保策について検討・設計を行う。

#### (2) アンケート調査の実施

効果的な観光二次交通の確保に向けた検討を行うため、紙媒体及びWebによる以下のアンケート調査を実施すること。

なお、アンケート調査の実施に当たっては、本市が実施した予備調査（別紙2参照）の内容を踏まえること。

##### ア 市内中心部（交通結節点）におけるアンケート調査

- ・ 広島駅及び広島バスセンターを含む市内中心部（交通結節点）において、主に観光客を対象として調査を実施すること。
- ・ 日・英を含む2言語以上に対応した調査を実施すること。
- ・ 集計に当たっては、回答者の属性情報（年齢、来訪元等）ごとに分析を実施し、それぞれの特徴

を把握できるようにすること。

- ・ 調査方式、調査項目及び調査実施時期・実施期間等について、あらかじめ発注者へ報告の上、承認を得ること。

なお、以下の事項については必ず調査項目に加えること。

**【調査項目】**

- ・ 観光客の動態分析（本市まで、及び湯来地域への交通手段等）
- ・ 湯来地域の観光資源等の認知度
- ・ 市内中心部から湯来地域への理想の交通手段
- ※ 設問と併せて交通手段の具体例を提示すること。
- ・ その他インフラ整備に関する要望（湯来地域内の駐車場の整備等）

**イ 湯来地域内におけるアンケート調査**

- ・ 湯来ロッジ、広島市湯来交流体験センター及び湯の山温泉館を含む湯来地域内の観光施設等において、主に観光客を対象として調査を実施すること。
- ・ 日・英を含む2言語以上に対応した調査を実施すること。
- ・ 集計に当たっては、回答者の属性情報（年齢、来訪元等）ごとに分析を実施し、それぞれの特徴を把握できるようにすること。
- ・ 調査方式、調査項目及び調査実施時期・実施期間等について、あらかじめ発注者へ報告の上、承認を得ること。

なお、以下の事項については必ず調査項目に加えること。

**【調査項目】**

- ・ 観光客の動態分析（市内中心部から湯来地域まで、及び湯来地域内を移動する際の交通手段等）
- ・ 市内中心部から湯来地域まで、及び湯来地域内を移動する際の理想の交通手段
- ※ 設問と併せて交通手段の具体例を提示すること。
- ・ その他インフラ整備に関する要望（湯来地域内の駐車場の整備等）

**(3) 提案書の作成**

前記4(1)(2)を踏まえた上で、年間収支（利用料金収入等の財源や概算運行経費）、運行方式※、運行主体及び発着・停留場所（以下「年間収支等」という。）を整理し、市内中心部から湯来地域までの移動及び湯来地域内の周遊に資する効果的な観光二次交通の確保策を3案以上提案すること。

また、提案に当たっては、以下の視点から検討を進めるとともに、各案のメリット・デメリットや路線図を提案書に盛り込むこと。

ア 採算性・持続性を考慮した事業とすること。

イ 観光客のニーズに応じて、比較的短い待ち時間で乗車できるものとする。

ウ 湯来地域の主要な観光施設等を経由できるルートとすること。

エ 既存のバス路線との競合に留意し、バス路線との連携により、湯来地域内の周遊にも資する形態とすること。また、沿線住民の乗車の適否を考慮したものとする。

オ 医療や教育など他分野で運行される送迎バスとの連携を考慮したものとする。

カ 道路運送法などの関係法令を踏まえ実施可能なものとする。また、必要に応じて運輸局等と協議を行うこと。

※ 運行方式として、例えば以下の形態が想定されるが、必ずしもこれに限定するものではない。

- ・ デマンド型交通  
（迂回ルート・エリアデマンド型、自由経路ミーティングポイント型、自由経路ドアツードア型）
- ・ 公共ライドシェア（自家用有償旅客運送）
- ・ 既存のシャトルバスの拡充

**(4) 会議開催支援**

契約期間内に発注者が会議を開き、地域住民等と観光二次交通について協議を行う際、年間収支等を示す各種資料の作成を行うこと。また、会議に参画し、専門的な知見からアドバイスをを行うとともに、議論が円滑に進むように会議進行を支援すること。

なお、会議の開催は最大で3回程度を想定している。

## 5 成果物等について

以下の成果物等を電子媒体（USB メモリ）及び紙媒体（１０部）で納品すること。

### (1) 業務実施計画書

#### ア 内容

本仕様書に基づき、実施体制及び実施スケジュール等を記載した業務実施計画書を発注者に提出し承認を得ること。

また、実施計画書の重要な内容を変更する場合は、その都度、発注者に変更計画書を提出し承認を得ること。

#### イ 提出期限

契約締結後２週間以内

### (2) 調査事項報告書

#### ア 内容

前記４(1)(2)の業務内容をレポートにまとめたものを提出すること。

#### イ 提出期限

- ・ 令和８年８月１０日まで（中間提出）
- ・ 令和９年２月２８日まで（最終提出）

### (3) 提案書

#### ア 内容

前記４(3)に記載の内容に即した提案書を提出すること。

#### イ 提出期限

- ・ 令和８年８月１０日まで（中間提出）
- ・ 令和９年２月２８日まで（最終提出）

### (4) 業務実施報告書

#### ア 内容

業務完了後、業務実施報告書を提出し発注者の承認を得ること。

#### イ 提出期限

令和９年２月２８日まで

## 6 納入場所

〒730-8586

広島市中区国泰寺町一丁目６番３４号

広島市経済観光局観光政策部おもてなし推進担当

## 7 業務の再委託

業務の実施に関し、受託者は業務の一部を第三者に再委託することができる。その場合は、再委託先事業者の事業概要、業務体制及び責任者を明記の上、書面により提出し、本市の承認を得ること。

## 8 その他

受託者は、委託契約約款に定められたことのほか、以下の事項を遵守すること。

- ・ 業務着手前に、発注者との窓口となる業務総括責任者及び業務担当スタッフを専任し、発注者の承認を得ること。
- ・ 発注者との間で速やかに連絡が取り合える適切な連絡体制を構築し、業務の円滑な遂行を図ること。
- ・ クレーム、事故等については、迅速かつ適切に対応し、発注者に漏れなく報告すること。
- ・ 成果品の権利は、全て発注者に帰属するものとし、発注者の承認を得ずして公表、貸与、使用等をしてはならない。

- ・ 本業務が完了した後において、成果品に修正を要する箇所が発見された場合には、速やかに訂正、補足その他必要な措置を講ずること。なお、これにかかる費用は全て受注者の負担とする。
- ・ 本業務の実施に際し、第三者に損害を与えた場合は全て受注者の責任において処理すること。
- ・ 本仕様書の内容に疑義が生じた場合又は本仕様書に定めのない事項については、その都度、発注者と協議すること。
- ・ 受注者は、広島市個人情報保護条例を遵守の上、契約の履行に際して知り得た秘密を、契約の存続期間、契約の終了後及び解除後においても、第三者に漏えいしないこと。